

消費生活センターにご相談ください

消費豆知識 111

手指の消毒剤 噴霧する時は気をつけて！

事例 スーパーの入り口に置いてあったスタンド型の手指用アルコール消毒剤を父親が使用した際に、近くにいた2歳の子どもが突然「目が痛い」と泣き出した。すぐにタオルで拭いたが目をこすろうとするので念のため病院で受診した。

- ・店舗などの入口に設置された消毒剤には、自動噴霧式や足踏み式のものもありま
- す。子どもの身長によっては顔の高さで噴霧され、顔や目にかかることがあります。
- ・使うときには、子どもが近くにいないことを確認し、ノズルの高さや向きに注意しましょう。
- ・子どもの手に使用する場合も必ず大人がスプレーしましょう。
- ・目に入った場合は、目をこすらないように注意してすぐに水やぬるま湯で洗い、痛みや充血がある場合は医療機関を受診しましょう。



▼相談日時 月～金曜日（祝日・年末年始を除く）

午前9時～正午、午後1時～4時

▼相談場所 上三川町消費生活センター（役場1階 地域生活課内）

▼相談専用電話番号 ☎ 9153

※は、お電話を。消費者ホットライン1888でもつながります。

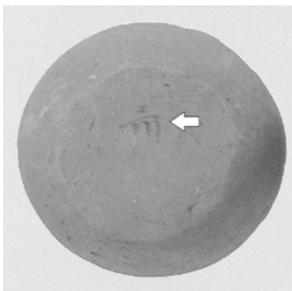
上三川ごぼれ話 第1話 町名の由来

上三川町の地名の由来は、その名前のとおり町を南北に流れる大小の河川が由来となっています。町内には鬼怒川や田川、磯川、江川などいくつかの河川がありますが、三つの川がこのいずれを指すのかは諸説あり、正確には分かりません。

上三川の地名が初めて文献に現れるのは、平安時代に編纂された『百科事典』和名類聚抄です。下野国河内郡の郷名に「三川」「みかわ」または「みのかわ」の名が見られます。また、多功南原遺跡で底面に「三川」と墨書された土器が見つかっています。古来よりこの地が「三川」の名で呼ばれていたことが分かります。

時は流れ、鎌倉時代になると、町域は宇都宮城を本拠地とする宇都宮氏の支配地となります。この頃の文献資料にこの地域が「上三川」「中三川」「下三川」と呼ばれていたとの記録があります。ここで初めて「上三川」の名が現れるわけですが、現在までに「中三川」「下三川」の地名はなくなってしまし、「上三川」だけが残りました。

さて、「上三川」をどのように読むかというと、歴史的に「三川」から派生した名前であることを考慮すれば、「上三川」が適当でしょう。そして、時を経るなかで「み」が一文字省略されて「かみのかわ」となり、町の出版物などでふりがなをふる時は、「上三川」というように均等配置しています。



「三川」の墨書のある土器

▼問い合わせ先 生涯学習課 生涯学習係 ☎ 9159